

令和8年度 施政方針

秘書課 ☎32-8032 FAX 34-6008

令和8年第1回みよし市議会定例会で3月2日、おやまたすく 小山祐市長が令和8年度の施政方針を発表しました。まちの目指すべき方向性と取り組みについて6つの視点に分け、抜粋して紹介します。詳細は、ホームページをご覧ください。



ホームページ



1 こどもを中心としたまちづくり

こどもたちの未来をまちづくりの中心に据え、妊娠期から子育て期まで切れ目なく支える体制を強化します。RSウイルスワクチン接種の開始や見守り訪問の拡充、5歳児健診の導入、医療的ケア児のいる家庭への支援など、多様な家庭を支える仕組みを整えます。産後ドゥーラの初回無料化や、若い世代へのライフデザイン・出会い支援にも取り組み、少子化時代にあっても安心してこどもを育てられるまちを目指します。



2 産業振興と地域経済の持続的成長

地域経済の変化が進む中で、中小企業を中心とした産業を支える環境整備が重要となっています。エネルギー価格や原材料費の高騰、人手不足など厳しい状況に対応するため、生産性向上の設備の投資支援、省エネ設備の導入支援を進めます。また、さらなる企業誘致を進め、将来の雇用と税収基盤を確保します。さらに地域商業の維持・活性化にも取り組み、働く人と挑戦する企業を支えるまちとして発展を目指します。

3 安全・安心なまちづくり

市民の命と暮らしを守ることを最優先に、地域防災力の強化と安全対策の充実を進めます。激甚化・頻発化する災害げきじん ひんぱつに備え、自主防災組織の支援や資機材の整備、避難所運営の充実を進め、災害時に誰一人取り残されることのない避難体制を整えます。さらに、犯罪被害者への日常的な支援を拡充し、被害者や家族が安心して生活を再建できる環境を整備します。



未来への挑戦を継続する1年に

社会の転換期にあつて自治体の役割が増す中、令和8年度は「市民の暮らしを守りながら未来を切り拓く市政」を目指します。安定した財政基盤や福祉・子育て・産業・生活環境といった本市の強みをさらに伸ばし、将来にわたって選ばれるまちを目指して、これまで築いてきた基盤を確かなものにして、未来への挑戦を継続する1年にします。

予算編成の基本的な考え方

令和8年度の一般会計予算は279億4千万円で、大型事業の進捗により前年度から減額となりましたが、市民サービスを維持しつつ効率的な財政運営を進めます。市税を柱とした安定した財政基盤を強みに、社会保障費増加や施設老朽化に備え、市民生活の安心の支えと、将来への投資による「安心と成長を両立する予算」として編成しました。

4 便利で快適な都市基盤の整備

都市基盤は市民生活を支える骨格であり、道路や公園、公共交通の充実が日常生活の利便性を向上させます。高齢化が進む中で移動手段の確保が大きな課題となっており、AIを活用したデマンド型乗合移動サービスの実証実験を通じて新たな地域交通の可能性を探ります。また、これらは単なる交通施策ではなく、高齢社会に対応した生活基盤の再構築への挑戦です。将来にわたり安心して快適に暮らせる都市環境の整備を進めていきます。



5 環境と共生する持続可能なまちづくり

環境政策を未来への責任と位置づけ、環境と経済が調和するまちづくりを進めます。城山保育園でのペロプスカイト太陽電池の実証、公共施設のLED化、水素トラック導入支援や住宅の省エネ化補助など、再生可能エネルギーと省エネへの取り組みを強化します。市民や事業者と連携した環境活動を推進し、環境政策を新たな価値を生む投資と捉え、将来世代に誇れる環境先進都市を目指します。

6 デジタル化と行財政改革の推進

行政を持続可能にするためには、人口減少下でも限られた人員と財源で行政サービスを維持できる仕組みづくりが欠かせません。効率と質の両立を目指し、ICT活用による業務効率化やオンライン申請の拡充を進め、市民が時間や場所にとらわれず手続きできる環境を整えます。また、老朽化や利用状況の変化に対応した公共施設の最適化と施設マネジメントの実施を進め、限られた財源を最大限に活かす持続可能な行政運営を実現していきます。

